

## 皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

### 80歳の透明感ある肌は石けん洗顔の合成界面活性剤技術 -確かな洗顔後のスキンケア知識と技術が要求される-

洗顔石けんだけで、80歳でも透明感のあるみずみずしい肌を実現。その理由は、最新の美容技術、つまり合成界面活性剤技術によるものです。

石けんに限らず、洗顔料を使った洗顔後の肌は非常にデリケートな状態です。カブレや肌荒れなどが起きないように、「バリア機能を取り戻し、角質水分保持能を向上させる」保湿ケアを行います。確かな洗顔後のスキンケア知識と技術が要求されます。

80歳の沈んだ肌の状態とは、皮膚バリアが壊れ角質異常現象が起こり、剥がれ落ちるべし古い角質細胞が付着し、角質が肥厚しているということです。

石けん洗顔の界面活性作用で、古い角質をとって、ターンオーバーを促進したから、80歳でも透明感のあるみずみずしい肌を実現できたということです。

何か特別な有効成分が透明感のあるみずみずしい肌を作ったのではありません。作ったのは石けんの界面活性作用によるものです。また、その効果は一時的で、石けん洗顔の界面活性作用で同時に肌に必要な脂質まで取ったため、皮膚バリア力は弱くなります。それをカバーしようと、肌は肥厚させる防衛反応を起こします。石けん洗顔で古い角質を取り続けなければ、沈んだ肌の状態に戻ります。

このとき、肌に必要な脂質まで取ったため肌は荒れています。保湿ケアが必要ですが、ここで保湿ケアを間違わないでください。短絡的に、化粧水・乳液・クリーム・オイルを使って「肌を保湿する」のではなく、リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品で「バリア機能を取り戻し、角質水分保持能を向上させる」保湿ケアを行います。

すべての界面活性剤は、その効果を発揮するとき、良くも悪くも脂質の溶出とタンパク質を変性させます。このことを忘れてはなりません。ほとんどの方が、この皮膚科学の科学的事実を知りません。